2026年11月４日

各　　位

会社名：株式会社じもとホールディングス
（コード番号：7161　東証スタンダード市場）
代表者名：取締役社長　　坂爪　敏雄
問合せ先：総合企画部長　菅原　正宏
（　ＴＥＬ．０２２－７２２－００１１）

2027年３月期第２四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、連結子会社である株式会社きらやか銀行（以下、「きらやか銀行」）及び株式会社仙台銀行（以下、「仙台銀行」）の業績動向を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期連結業績予想を上方修正しましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2027年３月期第２四半期の決算発表は、2026年11月13日を予定しております。

記

１．2027年３月期第２四半期連結業績予想の上方修正

１－１　2027年３月期第２四半期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,400	百万円 1,200	円　銭 44.86
今回修正予想（B）	2,200	1,600	59.91
増減額（B－A）	800	400	
増減率（％）	57.1	33.3	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	1,464	1,482	55.42

１－２　修正の理由

（１）子銀行（単体）の2027年３月期第２四半期業績予想の修正

きらやか銀行は、金利上昇に伴う資金利益の増加や与信関係費用の減少などにより、経常利益と中間純利益がともに前回予想を上回る見込みです。

仙台銀行は、金利上昇に伴う資金利益の増加や経費の減少などにより、経常利益と中間純利益がともに前回予想を上回る見込みです。

以上のとおり、子銀行の業績予想の上方修正を主因として、当社の2027年３月期第２四半期連結の業績予想を上方修正するものです。

子銀行（単体）2027年３月期第２四半期業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

	きらやか銀行		仙台銀行	
	経常利益	中間純利益	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	700	700	500	300
今回修正予想（B）	1,200	1,000	900	600
増減額（B－A）	500	300	400	300
増減率（％）	71.4	42.8	80.0	100.0
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	1,073	1,001	230	393

２．2027年３月期通期の業績予想（変更ございません）

当社の2027年３月期の通期連結業績予想は、現時点において前回予想から変更はございません。
今後、通期連結業績予想の修正が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

2027年３月期通期　連結業績予想数値（2026年４月１日～2027年３月31日）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想	4,000	3,600	127.88
（ご参考）前期通期実績（2026年３月期）	3,159	2,584	89.93

2027年３月期通期　子銀行（単体）の業績予想数値（2026年４月１日～2027年３月31日）

	きらやか銀行		仙台銀行	
	経常利益	当期純利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想	2,200	2,200	1,500	1,000
（ご参考）前期通期実績（2026年３月期）	1,679	1,464	1,321	1,101

３．2027年３月期配当予想（変更ございません）

３－１　普通株式の配当

（１）2026年５月15日に発表しましたとおり、2027 年３月期の普通株式に係る期末配当は、１株あたり５円00銭を予定しており、現時点において配当予想に変更はございません。
（２）当社連結の通期業績予想に連動して年間配当水準を予想していることから、既に発表しましたとおり、普通株式の中間配当を行わず、期末配当に一本化する予定です。

３－２　優先株式の配当（公的資金）

（１）2026 年５月 15 日に発表しましたとおり、当社が国の公的資金を受け入れるにあたり発行している優先株式（B 種優先株式、C 種優先株式、D 種優先株式、E 種優先株式）は、所定の配当金を全額配当することを予定しております。

（２）既に発表しましたとおり、優先株式についても中間配当を行わず、期末配当に一本化する予定です。

（注）本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以　上